

協育推進室

Cooperative Growth Fostering Department

協育は
未来のまちの力なり！

大人と子どもが強固な絆を
築き上げていくために



室長 善野 良
Ryo Zenno

本年度は、常任理事 協育推進室 室長として、「凛々しいまち大阪の実現」をめざして参りました。

協育推進室では、「協育は未来のまちの力なり！」をテーマに、まちに生きる人たちが各々の担う立場や果たすべき役割をもって互いを支え合い、希望に溢れる未来への夢を描き憧れに向かって一緒に進んでいこうと挑み、使命を果たす活動より得られる互いを理解し信じ合う、強固な絆を共に築き上げていくべく活動を行って参りました。

まちに住み暮らす人びとが築き上げてきた事象を体感し、各々が置かれた立場と果たすべき役割を胸に刻み、次の世代に向け人が持つ様々な個性を融合し、互いを尊重し合い共に未来に向かって飛躍していかなければなりません。

当室では、大阪のまちに上記の絆を築くべく、共感教育実践委員会、経験則継承委員会の2委員会がそれぞれの運動を推進してまいりました。

共感教育実践委員会では、未来に向けたチャレンジ精神を持ちながら行動する意欲を子どもたちに育んでいくために、JCI大阪に30年にわたって継続されている伝統事業であるわんぱく相撲事業を中心として、「輝KID'Sフォーラム」を実施し住み暮らすまちや自らの未来に夢を描いてもらい、手と手を取り合い協力し合おうとする気概を育んで参りました。

また、経験則継承委員会では、大人と子どもが互いを信頼し合える関係を築き上げていくために、大阪市内の各小学校にご協力頂き、個々の培ってきた経験則を活かし前向きに次代の人びとへ引き継いでいく意識を高める為に、JCI大阪メンバー自らが講師となる「社会人講師」事業を中心に行い、積極的に相手の立場を受けとめ尊重する心や、夢の実現に向けて力を合わせ支え合う役割と責任を自覚して貢献し、互いを信頼し合える関係を築き上げて参りました。

大人と子どもが強固な絆を築き上げていくには、過去から引き継がれてきた人びとの営みの流れと拡がりで形創られている事実を知り、全ての事柄には必ず自分自身にも関わりがあることを認識し、自らが未来のまちのために当事者としての役割と使命を果たさなければなりません。

本年の我々の運動が、引き続き大阪のまちに絆を築き上げていくことを祈り、一年間のまとめとさせていただきます。



共感教育実践委員会

Cooperative Education Implementation Committee

委員会基本方針

私たちは、住み暮らすまちや自らの未来に対して夢を描き、歴史を築き上げる一員として主体者意識を持ち、異なる価値観を超えて、手を取り合い協力し合おうとする気概を携え、未来に向けたチャレンジ精神を持ちながら行動する意欲を子どもたちに育んでいきます。



日 時：5月21日（土）
場 所：大阪府立体育会館
参加者：計画 1,300名
結果 約7,049名
(子ども1,049名・
大人6,000名)



日 時：5月21日（土）
場 所：大阪府立体育会館
参加者：計画 1,300名
結果 約3,700名
(子ども1,100名・
大人2,600名)

第30回大阪市長杯わんぱく相撲大会

自らの内に秘めたる無限の可能性を感じ、持てる力をだす誇らしい舞台を通じ、歴史を築き上げてきた先人たちとの共感の機会を提供することで、新たな歴史を自らの力で築こうとする前向きな意識を養っています。会場受付にて子ども達の意気込みと、一緒に大会に参加する仲間への応援メッセージを撮影し、会場スクリーンに流すことで、勝負に拘らず一緒に精一杯頑張ろうと共感し、健全で前向きな意欲を育んでいく事ができました。

【工夫した点】マニュアルを精査し、マニュアルを見れば、誰でも設営できるようにした。



輝KID'S フォーラム

子ども達が自らの未来には無限の可能性があり、夢を持つことの大切さに気づき、一人一人が未来に向けて自己啓発的行動していく意欲を胸に刻み、仲間と共に未来への前向きな意欲を育んでいきます。アンケートの結果と後日、小学校への聞き取り調査により、子ども達がフォーラムの話を友人にし、自分も明日からがんばろうと意欲が育めた事を確認できました。

【工夫した点】オリンピックメダリストの池谷幸雄氏だけでなく、今、オリンピックを目指して頑張っている同世代の子ども達に、演技をしてもらうことで、共感を深め、最後に会場全体が一体となる伝達アートを取り入れた。